

単
元
名

～表現遊び～

生き物に大へんしん！～どうぶつランドをひらこう～

○ 小学校（ 1 ）年 教科等（ 体育 ）

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

- ・身近な題材の特徴をとらえ、想像した動物の動きを全身で表現する。
- ・友だちのよい動きを見つけ、題材の特徴と結び付けて考えられる。
- ・表現遊びに進んで取り組み、友だちと楽しく活動する。

○ 学校図書館活用のポイント

- ・動物の動きを表現遊びで取り組むにあたり、本を活用して動物の特徴をとらえることで、動きの幅が広がり、多様な表現を引き出すことができる。

○ 学習の展開（全4時間）

第1次 つかむ	・「表現遊び」って？ ・【ほぐし運動】新聞紙になってみよう！ ・知っている動物になろう ～「だるまさんが転んだ」のリズムで～	
第2次 かかわる	○大きな動物になろう ・【ほぐし運動】洗濯物になってみよう！ ・【まねっこタイム】 みんなで同じ動物になる。 ・【絵本の広場】 動物の本を見る。 ・【なりきりタイム】 絵本からの情報をもとにグループのみんなと表現する。 ・【全体タイム（動物クイズ）】 なりきりタイムの動物を発表してクイズを出す。	○小さな動物、水の中の動物になろう ・【ほぐし運動】風船になってみよう！ ・【まねっこタイム】 みんなで同じ動物になる。 ・【絵本の広場】 動物の本を見る。 ・【なりきりタイム】 絵本からの情報をもとにグループのみんなと表現する。 ・【全体タイム（動物クイズ）】 なりきりタイムの動物を発表してクイズを出す。
第3次 活かす	・発表会「どうぶつランドをひらこう」 これまでに取り組んできた生き物に変身する。	

【取組みを終えて】

○ 学校図書館を活用した学習における成果と課題

① 成果	・子どもたちは、題材にする動物の特徴を写真からよくとらえて動いていた。そこから、想像をふくらませたり、写真でみた動物の様子を再現したりしていた。結果、多様な表現の動きにつながった。 ・クイズを出すという活動の目的が分かりやすく、意欲的に本に向かい読み進めていた。クイズの場面では、自分たちの動きを当ててもらうことが嬉しく、自然に笑顔になっていた。先生が「なぜ分かったの？」と問いかけることで、友だちのよい動きを見つけるといった目的につながった。
② 課題	・題材にする動物によっては、動きの特徴がとらえにくい動物がいるので、提示する資料を選ぶ必要がある。
③ 児童の感想・ふりかえり	・「カエルのジャンプがじょうずにできたよ。みんながとてもじょうずでした。」 ・「へびのよるよるのうごきができたよ。ほかのいきものにへんしんしたいな。」 ・「きょうは、かめのうごきをしてみんなにわかってもらえてうれしかったし、またやりたいなとおもいました。」

○ 学校図書館を活用した際に注意した点や学習の中で工夫した点について

・動物の特徴的な動きが分かる写真資料が多い本を用意する。 ・子どもたちに表現させたい動物に関する本を担当の先生と選び、動物ごとにまとめておくようにした。 ・図鑑には、必要なページに付箋をはり、1年生の子どもたちがすぐに情報を取り出せるようにしておく。 ・公立図書館の団体貸出を利用して、一人1冊以上の本を見られるようにした。
